

地球を取り巻くオゾン層は、有害な紫外線を吸収し生物を守る働きで知られる。そのオゾンには強力な酸化力もあり、殺菌や脱臭などに使われる。タムラテコ(大阪府東大阪市)社長

起業の軌跡

の田村耕三はオゾン水生成装置に「再起」を懸けた。同社製品は食品工場や外食チェーンのほか、今春には細菌の除染などを視野に東京消防庁が導入するなど顧客層を広げている。

殺菌・脱臭、効果を「見える化」

タムラテコ

田村 耕三社長



たむら・こうぞう 大阪電気工科大学卒業、40歳。大阪府出身。設立。大阪府出身。

オゾン装置 再起懸ける

ムラテコを設立した。だが、創業まもなく焼酎メーカーから「燃油の値上がりで、瓶を消毒するための熱湯をつくる費用がかさむ」と相談を受ける。そこで「オゾンに水を混ぜればいけるのではないか」と思い立つ。オゾン水なら熱湯も薬品も使わずに殺菌できる。早速、ベンチャー企業の

ムラテコを設立した。だが、創業まもなく焼酎メーカーから「燃油の値上がりで、瓶を消毒するための熱湯をつくる費用がかさむ」と相談を受ける。そこで「オゾンに水を混ぜればいけるのではないか」と思い立つ。オゾン水なら熱湯も薬品も使わずに殺菌できる。早速、ベンチャー企業の

方から学んだ。放電によって酸素からつくりだしたオゾン水を溶かし込む特殊なノズルなどを考案し、半年ほどでオゾン水生成装置を完成させた。

だが、オゾン水の分野にはさまざまな企業がひしめく。一定濃度以上のオゾンは人体への悪影響が懸念され、家庭用のオゾン発生装置で安全性を順守していない一部メーカーの製品が問題視されたこともある。

「今後は介護現場での脱臭などにもオゾンは使える。海外にも進出し、衛生面の向上に少しでも貢献していきたい」。不惑の年を迎えた田村に迷いはない。

大学卒業後に入った家電

に乘れず、4年後に倒産。

持ち味のスピードを生かして開発に取り組んだ。もの

田村が顧客の信頼を得るために打ち出しているのが

臭などにもオゾンは使える。海外にも進出し、衛生面の向上に少しでも貢献して

父が経営する金属加工会社で働き始めた。ボイラーを製造していたが、灯油型からガス型に切り替わる時流

「実家を取り戻したい一念で働き始めた。ボイラーを製造していたが、灯油型からガス型に切り替わる時流

「実家を取り戻したい一念で働き始めた。ボイラーを製造していたが、灯油型からガス型に切り替わる時流

「実家を取り戻したい一念で働き始めた。ボイラーを製造していたが、灯油型からガス型に切り替わる時流

「実家を取り戻したい一念で働き始めた。ボイラーを製造していたが、灯油型からガス型に切り替わる時流

らガス型に切り替わる時流

らガス型に切り替わる時流

らガス型に切り替わる時流

らガス型に切り替わる時流

敬称略 (山田和馬)